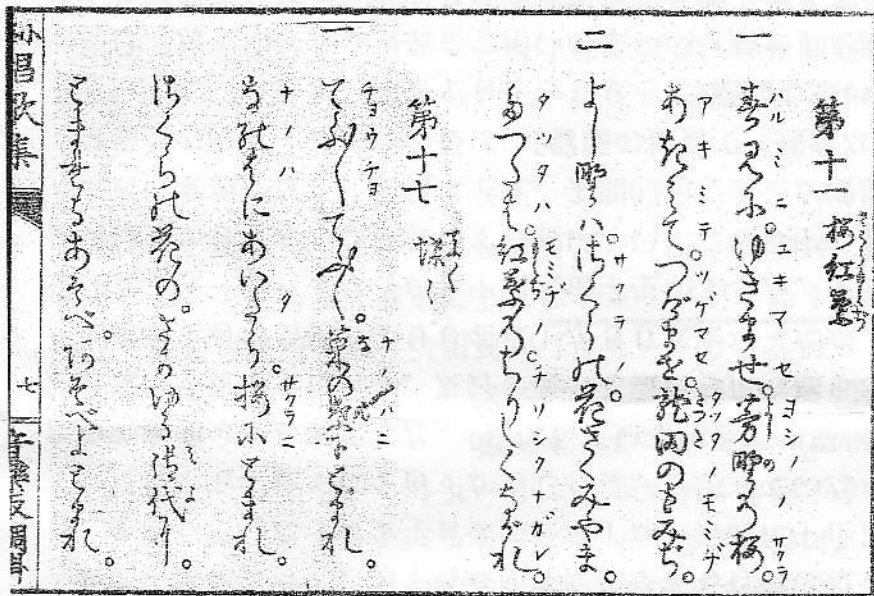


1、小学唱歌集に『龍田川』



明治18年刊行の小学唱歌集に『龍田川』と『ちょうちょ』を発見。昔の子供はこんな字を讀んでいたのですかね

先日、リコーダーの素晴らしい発表をした鈴鹿市桜島小の近くに『伊勢型紙』を展示する旧家があったので拝見させてもらったが、古い型紙見本には、旧仮名が付けられ、案内のお婆さんがすらすらと読んでくださり、びっくり。

2、高取町『かかし巡り』と『アキ缶の城』

深まる秋、情緒溢れる城下町の散策をお楽しみ下さい。

奈良・高取町 田園の案山子が町家の案山子に大変身！
等身大のおばあちゃんや子供達の可愛いかかしが、駅前から街なみ約50ヶ所の町家や商店で皆様のお越しをお待ちしています。

可愛い町家のかかし

私を抱っこして記念写真をどうぞ。

楽しく参加できる遊びもあるよ！

来て、見て、楽しんでネ！

天候が安定してきたので高取町方面へ車で行く。例によって地図で大体を確認。あとは出たところ勝負である。

高取町は奈良県中東部、花の吉野の入口に当たる。町の東部に伊豫出身の越智氏が開き桃山時代に本多氏が築城した高取城の跡があるという。(石垣の美しさもあって日本100名城の一つ) 適当に運転して行くと「SA」があったので停車して聞くと、かなり通り過ぎたらしい。反転して高取に入る。見落とした『壺阪寺』の看板を東に入り、ギネス認定のアキ缶の高取城を発見。いろいろとご説明を受ける。第4回という『かかし巡り』を見ながら元の通りに出て帰宅した。高取城跡訪問は次の機会とする。

3、リバー・サイド物語



清水・鳥坂のわが家に来たユーモリストが「ここはリバー・サイドだ」とのたもうた。梶原山から滴る谷川のことで、これに比べると現在の斑鳩のわが家の裏の小川は180cmほどもあるが、その川沿いに建つわが家の最上階(といっても2階)から表の道路が見える。先月、この道路の改修があり「奇麗に舗装できましたね」と組長さんと喜んだが、そうは喜べないこともある。奇麗になった道路にはいろいろアラナ。

1 朝 7:20から7:40ころは子供たちの登校時間。それを追い散らすように通勤車が走る。曲がりくねる細い道に適した小型車だが、舗装でスピードが増し、渋滞する国道目がけて先を争って走る。リア・ウインドーに『BABY IN CAR』の札が踊っている。その後続くはお百姓さん。皆さん働き者で、小型耕運機などに『TPP反対』ラベル。

2 昼間 静かになった通りに、犬を散歩させるご婦人が登場。大きなマスクは何のためか？ 声を掛けても挨拶はせずに行く。多い人は3匹の犬を操る。次いで、どこにしまってあったかと思わせる大型車がやってくる。スピードは出さないが、「我が道を行き、他は考慮せず、マイペース」が特徴。

信号のないT字路を勝手に右折・左折し、対向車は無視。「譲られても礼は言わず」奈良県警の『守れ！車間距離！2秒で20メートル』は無視し、前を行く車にぴったりと張り付くのがお好き。赤信号でも突っ込んで来るので「要注意」だが、リアトランクのところに「この字が読めるほどに近付くな」と記したのがありましたッケ。

3 夜中

「草木も眠る丑三つ時」と言えば「剣戟の声」だが、ここリバー・サイドは「暴走車のエンジン音」だ。休もうとする時間なので迷惑この上ない。エンジンの空吹かしが同じだから常連の奴かもしれん。一段大きく爆音を響かせて去ると「ウーウー」とパトカー。「ピーポー」と救急車。曲がりくねり、道幅さまざま、いろんな坂道。T字路にL字路があるこの地域で、一方通行などを利用して逃げ回るのを楽しみとするそう。やっとな寝られるかと思ったら、大型車が「右に廻りますからご注意ください」と叫ぶ。

友好深め共に未来へ



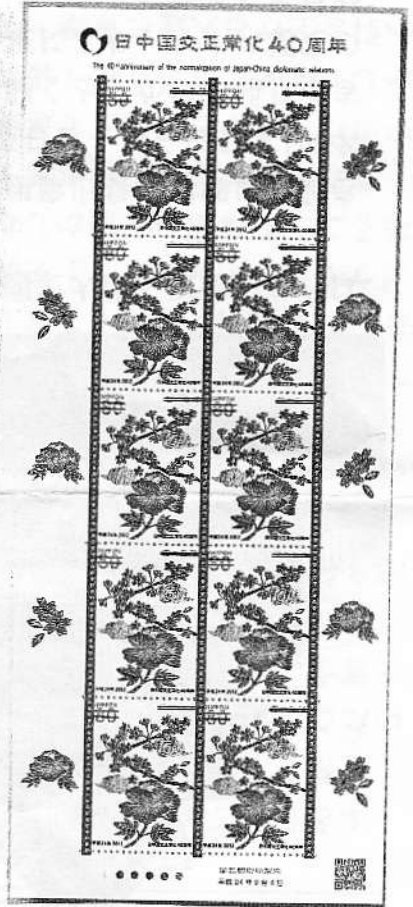
「意義ある年を祝いたい」とあいさつする辻井会長
=16日、奈良市法蓮町の春日野荘

日中国交正常化40周年と県日中友好協会創立60周年の記念式典が16日、奈良市法蓮町の春日野荘で行われ、約80人が参加。来賓に奈

良新聞社の甘利治夫代表取締役ら約16人が駆けつけた。同協会は、日中両国民の相互理解と友好を深め、日本とアジア、

世界の平和と繁栄に貢献することを目的に、経済人、市議、県議などによって昭和27年に誕生した。式典では同協会の古久保勲理事長に続いて、辻井誠行会長が「意義ある年を祝うとともに県と陝西省、奈良市と揚州市との友好都市の実現をともに喜び、明るい未来を切り開く出発点にしたい」とあいさつした。

出番を失った
記念切手



奈良県日中が創立60周年を向かえ、日中国交正常化40周年と併せて記念式典を行うことは昨年から知らされており、参加するつもりでいたが例の「尖閣問題」である。

新聞・テレビ等で、国や各種団体が主宰する行事は差し止めになったと報じ、清水日中も、企画していた「青少年音楽団公演」が一方向的に中止されて多大な損害を蒙った。

奈良日中も中止やむを得ずかもしれないと思っていたら「予定通り開催」と連絡があったので準備会から参加した。「提携している陝西省や揚州市からは全て欠席だが、創立の記念式は予定通りに行く。友好を進める気持ちにも揺らぎはない」とのこと。

出席予定者は当初の100名以上が80人となったが、大阪総領事館からの出席があり、奈良女子大・教育大などから中国人留学生が15人、中国帰国子女が15人も参加した。会員は僅か20人しか参加せず寂しい。いずこの日中でも同じ悩みだろうと想像するが「若者の参加がなく、会員は老化。尖閣問題で退会が増加」ということである。

準備会の際、辻井誠行会長は「冒頭の挨拶で『残念な思い』をしっかりと申し上げる」と言っておられたが、本番でもきっちりと『断腸の思い』と語りかけて立派だったし、顧問は「坊主憎けりゃ袈裟まで憎いの類いの行動だ」と皮肉を言われた。以前、私は清水日中の春節の会について奈良日中に報告したことがあるが、奈良で留学生や帰国子女が参加したことは希望が持てることであり、単に老人会員がお金を出して若者に食事をさせるのではなく、若人らしい参加の仕方で、友好活動の一員になっていって欲しいものと思われた。清水日中でも研修生や帰国子女のことをさらに考えたいと思う。

香久山を取り巻く稲が頭下げ
 天高く 斑鳩三塔 みな見える
 あと少し 大師堂まで 初紅葉
 ツタ五線 揺れて奏でるカラス瓜
 お渡りに古式を伝え 宇陀の秋
 川向こう 通夜の提灯 カジカ鳴く
 スグゲーな 鹿と外人 話てる
 大和川に 編隊を組む 赤トンボ
 八十二 リコーダー吹く媼あり
 謡い聞こゆ 敬老の日の湯殿かな
 あれ以来 デモと略奪 好きになり
 尾籠なる 話も楽し 喜寿の会

三山はビルとビルとの間から
 逆さ塔 鴨の波紋に崩れけり
 陽は落ちぬ コウモリ乱舞 龍田川
 降臨の神話の里に威し銃
 ほくほくと宇陀の枝豆 道の駅
 角伐られ 雄鹿威厳を無くしおり
 鹿の声 聴きつつ啜る 茶粥かな
 群れて飛ぶ トンボの中に五重の塔
 九十で エリーゼ弾いて鬘鑠と
 正倉院 宝物出陳 奈良之秋
 買い置きし 記念切手は無駄となり
 シンヤシン 孫の命名 これに決め



〈飛鳥〉岡寺三重宝塔



5、老人介護施設での音楽

ふとしたご縁で生駒市南部の老人介護施設「創生」で音楽の披露をした。11/16
 所長さんが言われるには「以前、電子ピアノを寄付して頂いたのに誰も弾けず、音を聞いたことがないので聴かせて欲しい」とのこと。試奏してみて異常はないので「それでは」と言うことになった。ピアノ独奏ではなく皆さんに歌ってもらうことにした。

60分を二つに分け、最初と中間と最後に体操をする計画だが、老人と言っても様々で、泣きながらや、寝たままの人もあるから、私の紹介や挨拶は簡単にしてまず体操から。

両手を高く挙げて深呼吸。降ろしながら腕を揉み肩を叩く。運動しながら「肩たたき」を歌うと少しずつ声も出てきた。「かあさんお肩を叩きましょ タントントン タントントン」何度も歌い「お歳はいくつですか？お元気ですね。」「93歳？ 大正何年ですか？」などと語りかける。「歳は忘れた」とか「〇〇」と無言の人もあるが、予め配布されてる歌詞プリントで探してもらい『日本で一番年寄りの歌は？』と尋ねる。

どうやら「チョウチョ」を発見。変体仮名を読んでもらう。チョウチョが「てふてふ」であることを確認し、懐かしむ。チョウチョの歌は142歳でした。(cf 本通信 1p)

意外に喜ばれたのは参考プリントの『揚げば貴とし』で、難なく三番まで読んで歌えた。中頃に「まりと殿様」で運動をし、後半は「かかし」「鎌倉」「故郷の空」を歌う。「かかし」はすぐ歌えたが「鎌倉」はダメ。「故郷の空」は喜ばれた。60分が終わり、部屋へ引き上げる人達に童謡・唱歌・昔の歌謡曲を弾いてあげる。立ち去る際、車椅子で私の側にきて、手を伸ばして握手を求めた男性が居りました。